

サラリーマンアンケート調査結果

2018.5.16

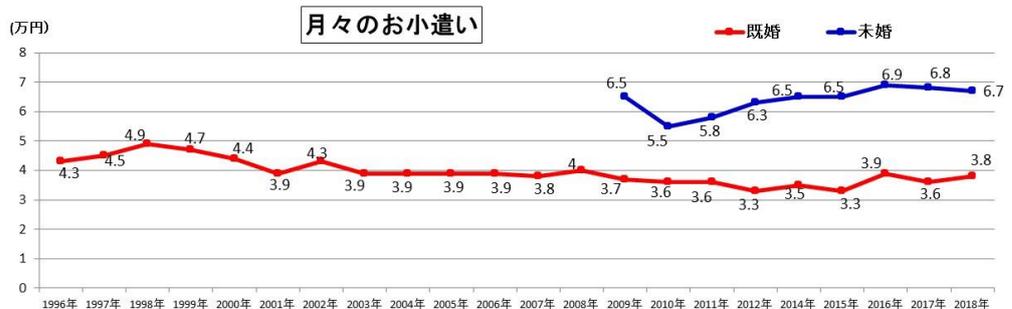
愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】	愛媛県内在住のサラリーマン 1,000 人 (公務員含む)					
【有効回答率】	42.7% (427 人)					
【調査時期】	2018 年 3 月					
【調査方法】	愛媛県内支店等にてお客様に配布、無記名、郵送返却					
-----回答者の属性-----						
【平均年齢】	41.2 歳					
【性別】	男性	57.6%	女性	41.0%	無回答	1.4%
【未既婚別】	既婚	65.1%	未婚	33.5%	無回答	1.4%
【就業形態】	正社員	78.9%	非正社員	19.9%	無回答	1.2%
【職種】	会社員	75.4%	公務員	10.8%	その他	5.6% 無回答 8.2%
【平均年収】	全体	584 万 1,000 円	既婚 (世帯収入)	713 万 1,000 円	未婚	321 万 1,000 円

1. 小遣いについて ①月々の小遣い

平均 4 万 8,000 円 (前回比+1,000 円)

既婚 3 万 8,000 円 (同+2,000 円) 未婚 6 万 7,000 円 (同▲1,000 円)



②1 年前と比べた 小遣い額の増減

「増えた」 5.2% 「変化なし」 82.0% 「減った」 7.0%

「増えた」理由・・・「子どもの独立」、「収入の増加」、「正社員になった」など
「減った」理由・・・「結婚費用」、「収入の減少」、「転職」など

③主な小遣いの 使い道 (回答3つまで)

	第1位	第2位	第3位
全体	食事・喫茶 67.0%	趣味・娯楽費 50.1%	飲み代 41.5%
既婚	食事・喫茶 66.2%	趣味・娯楽費 50.4%	飲み代 46.4%
未婚	食事・喫茶 69.2%	趣味・娯楽費 49.7%	衣服代 36.4%
男性	食事・喫茶 67.9%	趣味・娯楽費 61.8%	飲み代 61.4%
女性	食事・喫茶 65.7%	衣服代 52.0%	美容関連 39.4%

全体・未既婚・男女別でも、「食事・喫茶」が最も多く、6割以上を占めている。

2. 昼食について

①昼食内容

	全体	既婚	未婚
自宅から持参した弁当	37.9%	36.3%	39.2%
コンビニ等で購入	12.6%	11.5%	14.7%
弁当と外食との半々	10.5%	11.2%	9.8%
喫茶店・食堂	9.8%	11.2%	7.7%
仕出し・宅配弁当	8.7%	10.4%	5.6%
社内食堂	7.3%	6.1%	9.8%
自宅で食べる	6.3%	6.8%	5.6%
昼食抜き	4.9%	4.3%	6.3%
1日当りの平均昼食代	501円	493円	522円

全体では「自宅から持参した弁当」が最も多く、37.9%。

1日当たりの平均昼食代は全体で501円（前回比▲9円）、既婚者493円は、前回より26円の減少。

②昼食の理由 (複数回答)

	第1位	第2位	第3位
自宅から持参した弁当	昼食代節約のため 78.4%	栄養や健康のため 22.8%	外出ができない 14.8%
弁当と外食との半々	昼食代節約のため 57.8%	栄養や健康のため 22.2% 気分転換 22.2%	
コンビニ等で購入	昼食代節約のため 22.2%	気分転換 14.8%	外出ができない 13.0%
喫茶店・食堂	昼食時間が不規則 31.0%	気分転換 26.2%	美味しい 9.5%
仕出し・宅配弁当	昼食代節約のため 32.4%	外出ができない 29.7%	栄養や健康のため 21.6%
社内食堂	栄養や健康のため 25.8%	昼食代節約のため 22.6% 外出ができない 22.6%	
自宅で食べる	昼食代節約のため 44.4%	栄養や健康のため 29.6%	気分転換 18.5%
昼食抜き	昼食時間が不規則 23.8%	昼食代節約のため 14.3% 外出ができない 14.3%	

3. マネー管理

①現在の 金融資産額

	全体	既婚(世帯合計)	未婚
平均金融資産額	553万円	696万1,000円	278万5,000円

②1年前と比べた 金融資産額の 増減

「増えた」 27.2% 「変化なし」 49.4% 「減った」 13.1%

「増えた」理由・・・「定期的な貯金(積立)」、「相続」、「退職金」など

「減った」理由・・・「結婚式費用」、「子どもの教育費」、「収入減」など

③貯蓄の目的 (複数回答)

	全体	既婚	未婚
老後に備えて	48.5%	55.8%	34.3%
病気や不測の事態に備えて	37.2%	33.1%	46.2%
子どもの教育資金	35.8%	52.9%	3.5%
旅行・レジャー資金	28.3%	23.7%	37.8%
自動車の購入資金	11.0%	9.7%	14.0%
冠婚葬祭費	9.6%	6.8%	14.7%

全体では「老後に備えて」が最も多く、前回第2位から第1位へ。既婚者は前回より12.3ポイント増加。

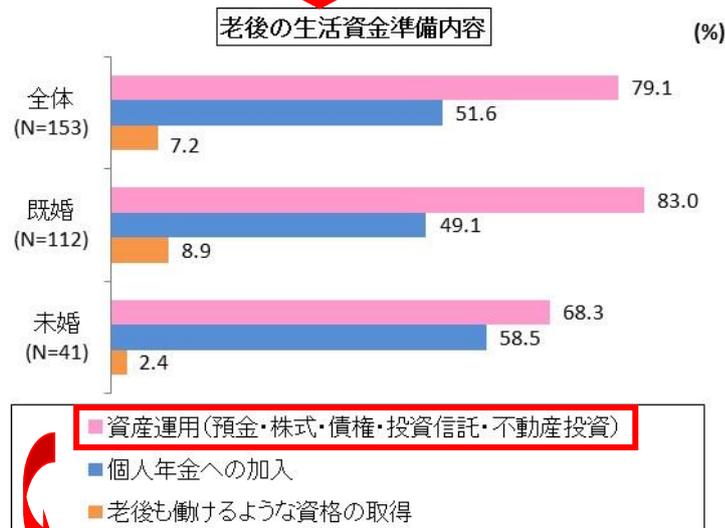
4. 老後について

①老後の生活 資金準備



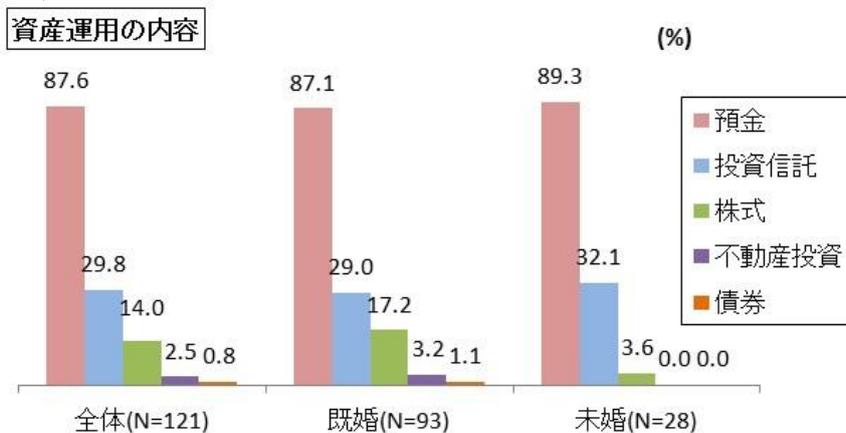
既婚者では「準備している」が4割以上を占め、前回より2.1ポイント増加。

②資金の準備内容



準備している内容としては「資産運用」が最も多く、8割近くを占めている。「個人年金の加入」については、既婚者では前回より15.8ポイント、未婚者では15.2ポイント増加している。

③資産運用の内容



「資産運用」の中身については「預金」が最も多く、全体で87.6%。

5. ローンについて

①ローンの有無と ローン残高

「ローンあり」 30.7% ⇒ **平均ローン残高 1,049万4,000円**
 「ローンなし」 56.9%
 「把握していない」 3.5%

【未既婚別】 既婚 「ローンあり」 38.5% ⇒ 平均ローン残高 1,146万円
 未婚 「ローンあり」 16.1% ⇒ 平均ローン残高 255万6,000円

②ローンの内容 (複数回答)

	全体
住宅ローン	74.0%
自動車ローン	25.2%
教育ローン	16.0%
カードローン	8.4%

6. 賃金とボーナスについて

①今年度（2017年度）の賃金アップ

「賃金アップあり」 23.2% ⇒ 月平均 5,128 円のアップ
 「賃金アップなし」 72.4%

【新設項目】

②2018年春闘での賃上げ希望額（月額）



全体では「1万円」を希望する人が多く約3割。非正社員では「5千円」が最多。

③2017年の冬のボーナス支給額と支給月数

冬のボーナス支給 「あり」 69.3% ⇒平均 44万6,000円（前回比+3万1,000円）
 支給月数 1.9か月（同+0.1か月）
 「なし」 20.6%

④2017年冬のボーナスの使い道（複数回答）

	全体		既婚		未婚	
	割合	金額(平均)	割合	金額(平均)	割合	金額(平均)
貯蓄	66.2%	26.1万円	65.1%	31.5万円	68.9%	16.7万円
生活費の補填	40.2%	13.9万円	44.4%	16.4万円	34.0%	7.8万円
買い物	35.1%	9.2万円	32.3%	10.1万円	40.8%	7.8万円
旅行	24.0%	10.4万円	18.5%	11.6万円	33.0%	8.8万円
外食	16.6%	5.0万円	14.8%	5.2万円	19.4%	4.5万円
ローン返済	15.9%	19.7万円	22.2%	20.7万円	4.9%	11.5万円
教育費	15.2%	24.9万円	22.8%	25.6万円	1.0%	1.0万円
その他	13.5%	15.2万円	12.7%	15.8万円	15.5%	14.1万円

「貯蓄」が最も多く、未既婚ともに6割以上。既婚者は前回より5.2ポイント増加、金額も7万7,000円増加。

全体で「買い物」（同▲3.4ポイント）、「旅行」（同▲6.3ポイント）、「外食」（同▲2.5ポイント）はそれぞれ前回より減少。「旅行」に使用する金額は前回より4,000円の減少。

【まとめ】

- 2017年の冬のボーナスの使い道で「貯蓄」が6割以上を占め、第1位。特に既婚者は割合・金額ともに増加。「買い物」・「旅行」・「外食」が全体で減少、消費意欲は少ない。
- 貯蓄の目的で、「老後に備えて」が前回第2位から第1位へ。既婚者では12.3ポイント増加の項目。
- 老後の生活資金準備をしている人は、既婚者においては4割以上を占め前回より増加、その中で個人年金に加入している人が15.8ポイント増加。

⇒ボーナスが増えつつも、消費意欲は低下傾向。
 堅実的で将来に対する貯蓄意識の高い人が、特に既婚者の中で多くなっている。